

街に自慢のタイルアート

多治見市内の小中学生らが制作したモザイクタイルアートの展示会が、同市中心部のながせ商店街一帯で開かれている。3月5日まで。

市内の小中学生約150人が描いた下絵から選ばれた30点を

基に、1月に保護者を含め約200人がモザイクタイルアートを制作。縦横60センチから同90センチまでの3種類の大きさがあり、商店街の店舗前に飾られている。

ルービックキューブなど自分の宝物をはじめ、同市のマスコ

多治見市の商店街

小中学生の作品展示

「ットキャラクター」つながつば」やモザイクタイルミュージアムなど「多治見の自慢」をデザインした作品が並び、市民らの注目を集めている。

多治見ロータリークラブが主催し、市教育研究所が協力、東濃信用金庫100周年プロジェクトチームが支援した。気に入った作品への投票も行われている。

(有我友香理)



子どもたちが制作したモザイクタイルアートが並ぶ商店街＝多治見市本町